



2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月8日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL <https://www.bs11.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 COO (氏名) 小野寺 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 平山 直樹 (TEL) 03 (3518) 1900
 経営戦略局担当
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績(2019年9月1日~2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	2,847	△5.8	471	7.8	474	8.0	323	6.7
2019年8月期第1四半期	3,023	—	437	—	439	—	303	—

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 323百万円(6.7%) 2019年8月期第1四半期 303百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	18.17	18.17
2019年8月期第1四半期	17.04	17.03

(注) 当社は、2018年8月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	19,763	17,633	89.2
2019年8月期	19,993	17,665	88.3

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 17,624百万円 2019年8月期 17,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,200	2.0	980	2.7	980	2.6	670	3.6	37.63
通期	13,000	3.2	2,010	18.7	2,010	18.3	1,380	19.1	77.51

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年8月期1Q	17,804,032株	2019年8月期	17,804,032株
2020年8月期1Q	137株	2019年8月期	137株
2020年8月期1Q	17,803,895株	2019年8月期1Q	17,802,842株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向や金融資本市場の変動、消費税増税の影響等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、デジタル放送受信機の普及に伴い、視聴可能世帯数の割合は全世帯の73.9%（「BS世帯普及率調査」(株)ビデオリサーチ調べ）で推移しており、またBSデジタル放送事業を含む衛星放送メディア分野の広告費は前年比で98.1%と減少、BS放送の広告費においては、前年比で99.7%とほぼ横ばいで推移しております（「2018年日本の広告費」(株)電通調べ）。さらにテレビ通販業界を中心とした各企業では、広告媒体の多様化が進み、引き続き厳しい環境が続いております。

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え、幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として、「豊かで癒される教養・娯楽番組と中立公正な報道・情報番組を発信し『価値ある時間』を約束します」との経営ビジョンに基づき、良質な番組制作に引き続き邁進いたしました。

2019年10月の番組改編では、良質な自社制作番組と外部リソースの最適なミックスによる視聴世帯数の更なる増加を目的として、学生アスリートが一つの目標に向かいひたむきに努力する日々に着目する自社制作番組『キラボシ!』、良質な購入番組として毎回活躍中のタカラジェンヌをゲストに迎え、舞台映像やトークで綴る、宝塚の魅力たっぷりの『TAKARAZUKA CAFÉ BREAK』、全国各地のテレビ局との共同制作で「御利益が得られる」として有名な神社を訪問し、そこに込められた心の形をひもとき、その土地の歴史、風土、特産品などを紹介する『ごりやくさん』の放送を開始いたしました。世界最大級のドキュメンタリーチャンネルである「ディスカバリーチャンネル」と、動物・自然を専門に扱う「アニマルプラネット」が誇る豊富で良質な作品群の中から、特に評価と人気の高い作品を厳選して放送する『ディスカバリー傑作選』は放送枠の拡大をいたしました。人気歌手である八代亜紀さんが豪華ゲストと共に楽しいトークと素敵な歌をお届けする『八代亜紀 いい歌いい話』、アニソン番組の『Anison Days』等の人気番組については内容を更に充実させ放送いたしました。

さらに特番では、スポーツコンテンツのより一層の充実を図るため、『2019年度 全日本学生柔道体重別選手権大会』、『BS11ソフトボール中継 日本女子ソフトボールリーグ』を放送し、ローカル局とのコラボレーションでは『京都紅葉生中継2019～皇室ゆかりの秋を訪ねて～』をKBS京都と共同制作し放送いたしました。

アニメファンから根強い人気を誇る『ANIME+』において、製作委員会へ出資した『戦×恋（ヴァルラヴ）』、『ノー・ガンズ・ライフ』、『俺を好きなのはお前だけかよ』、『スタンドマイヒーローズ PIECE OF TRUTH』ほか、約40タイトルのアニメ番組を放送いたしました。

このほか、アニメフィルムフェスティバル東京2019と連携したアニソンライブイベント「Anison Days Festival2019」を開催いたしました。

費用面につきましては、引き続き番組関連費用等の効率的なコントロールに努めながら、番組宣伝のための施策として、全国紙・WEBへの広告出稿を戦略的に実施したほか、首都圏主要駅への看板掲出など、様々な媒体を活用した広告宣伝施策を実施いたしました。以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,847,273千円（前年同期比5.8%減少）となりました。営業利益は471,386千円（前年同期比7.8%増加）、経常利益は474,242千円（前年同期比8.0%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は323,545千円（前年同期比6.7%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 229,346千円減少し、19,763,701千円（前連結会計年度末比 1.1%減少）となりました。主な要因は、有形固定資産のその他（純額）に含めて表示している建設仮勘定が 261,360千円増加したものの、現金及び預金が 314,162千円、受取手形及び売掛金が 212,069千円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ 196,814千円減少し 2,130,367千円（前連結会計年度末比 8.5%減少）となりました。主な要因は、流動負債のその他に含めて表示している未払金が 358,831千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 32,532千円減少し、17,633,333千円（前連結会計年度末比 0.2%減少）となりました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益 323,545千円の計上により増加したものの、前連結会計年度の期末配当 356,077千円の支払により減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の業績予想につきましては、2019年10月4日付の「2019年8月期 決算短信」で公表しました業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,324,583	10,010,421
受取手形及び売掛金	2,261,507	2,049,438
たな卸資産	296,105	385,106
その他	55,213	39,253
貸倒引当金	△140	△140
流動資産合計	12,937,270	12,484,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,324,703	2,303,510
土地	4,034,756	4,034,756
その他(純額)	240,610	476,483
有形固定資産合計	6,600,071	6,814,750
無形固定資産	85,793	81,089
投資その他の資産	369,911	383,781
固定資産合計	7,055,777	7,279,621
資産合計	19,993,047	19,763,701
負債の部		
流動負債		
買掛金	518,232	566,078
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	11,100	10,225
未払法人税等	175,201	183,195
返品調整引当金	41,390	48,105
その他	982,606	725,364
流動負債合計	2,228,530	2,032,969
固定負債		
長期借入金	1,900	—
退職給付に係る負債	75,726	76,884
その他	21,025	20,513
固定負債合計	98,651	97,398
負債合計	2,327,182	2,130,367

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,183,936	4,183,936
資本剰余金	3,517,726	3,517,726
利益剰余金	9,955,192	9,922,660
自己株式	△143	△143
株主資本合計	17,656,712	17,624,179
新株予約権	9,153	9,153
純資産合計	17,665,865	17,633,333
負債純資産合計	19,993,047	19,763,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
売上高	3,023,040	2,847,273
売上原価	1,614,491	1,461,982
売上総利益	1,408,549	1,385,290
販売費及び一般管理費	971,414	913,904
営業利益	437,135	471,386
営業外収益		
受取利息	0	1
その他	3,539	3,880
営業外収益合計	3,540	3,881
営業外費用		
支払利息	1,503	1,025
その他	65	—
営業外費用合計	1,568	1,025
経常利益	439,106	474,242
税金等調整前四半期純利益	439,106	474,242
法人税、住民税及び事業税	139,364	164,335
法人税等調整額	△3,552	△13,638
法人税等合計	135,812	150,696
四半期純利益	303,293	323,545
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	303,293	323,545

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	303,293	323,545
四半期包括利益	303,293	323,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303,293	323,545
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。